

## 会 議 録

会議の名称	平成23年度所沢市立学校給食センター運営委員会
開催日	平成23年7月14日(木) 午前10時～午後12時
開催場所	所沢市立第1学校給食センター 会議室
出席者の氏名	武内小次郎・高橋敏・青木章次・石塚正徳・三木敦史・内田昭子 十時典子・菊池義信・阿部芳昭・橋本千恵子・村上啓子・松本ひろみ 平田千春・池田和子
欠席者の氏名	本望宏子・浅野華子・小澤勇・吉川哲夫・横田稔昭・平岡正治
説明者の職・氏名	
議 題	(1) 平成22年度 学校給食センター運営概要について ① 学校給食センター実施状況 ② 施設・設備、給食指導、地場産野菜使用状況 ③ 学校給食費決算報告 (2) 平成23年度 学校給食センターの運営について ① 学校給食運営計画 ② 年間給食計画 ③ 学校給食用物資規格及び納入指定業者 (3) 給食施設等整備計画策定に向けた基本的な考え方について (4) その他
会議資料	次 第 平成23年度所沢市立学校給食センター運営委員会資料 学校給食衛生管理マニュアル(平成23年度版) 所沢市物資規格書(平成23年度版) 給食施設等整備計画策定に向けた基本的な考え方について資料
担当部課名	保健給食課 : 04-2998-9249 第1学校給食センター : 04-2949-3740 第3学校給食センター : 04-2942-2972 教育長 佐藤徳一 学校教育部 部長 平塚俊夫 保健給食課 参事 中村藤司・副主幹 川上一人 副主幹 田中ゆり子・主査 杉本恵美 第1学校給食センター 所長 二上清治・主査 小山尚子 第3学校給食センター 所長 小暮広史・栄養技師 西川聡子

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
<p>三木運営委員 第3給食センター 小暮所長 平田運営委員 保健給食課 田中副主幹</p>	<p>(1) 平成22年度学校給食センター運営概要について</p> <p>① 学校給食センター実施状況 保健給食課副主幹 第1・3学校給食センター所長説明 承認</p> <p>② 施設・設備、給食指導、地場産野菜使用状況 保健給食課副主幹説明 承認</p> <p>③ 学校給食費決算報告 第1・3学校給食センター所長説明 承認</p> <p>〈質疑内容〉 第3給食センター小学校の差引残額（繰越金）が、前年度繰越金よりも多いが、何か特別な事情があったのか。 特別な事情はない。 給食費の未納分は徴収できているのか。 給食センターへの学校の未納はない。また、学校における、保護者未納率は他市町村と比べると低く、およそ0.2%である。</p>
<p>平田運営委員 保健給食課 中村参事 内田運営委員 保健給食課 中村参事 佐藤教育長 池田運営委員</p>	<p>(2) 平成23年度学校給食センターの運営について</p> <p>① 学校給食運営計画 保健給食担当参事説明 承認</p> <p>② 年間給食計画 第1学校給食センター主査説明 第3学校給食センター栄養技師説明 承認</p> <p>③ 学校給食用物資規格及び納入指定業者 保健給食課副主幹 承認</p> <p>〈質疑内容〉 現在、福島原発事故により、放射性物質の数値が高い牛肉が市場に出回る等の問題がある。市としては、給食食材の放射性物質検査を行っているのか。 給食に使用する野菜については、使用の1週間前に業者から見積りを徴取する。その際、産地を確認し、県等のホームページで放射性物質の確認をしている。7月に野菜4品目を検査したが不検出だった。また、保育園で使用している牛乳等も不検出だった。 市で検査器具を所有しているのか。 所有していない。横浜市が検査を依頼している機関と同じ機関に検査を依頼した。 検査器具の購入費用はおよそ3千万である。 検査期間はどのようになるのか。</p>

<p>保健給食課 中村参事</p>	<p>給食食材及びその他の放射性物質の検査は全市で取り組む方向であり、食材については福島県等、状況を見ながら月2回程度実施する予定である。</p>
<p>内田運営委員</p>	<p>お茶・野菜などから放射性物質が検出されている。所沢市は「ホットスポット」になっているのか。</p>
<p>保健給食課 田中副主幹</p>	<p>なっていないが、より安全な食材を使用していきたい。</p>
<p>平田運営委員</p>	<p>単独調理場の食材についてはどうか。</p>
<p>保健給食課 田中副主幹</p>	<p>産地確認等を徹底するよう、栄養士に指示をしている。</p>
<p>(3) 給食施設等整備計画策定に向けた基本的な考え方について 保健給食担当参事説明</p>	
<p>〈質疑意見等〉</p>	
<p>内田運営委員</p>	<p>調理業務を業者委託している単独調理場があるが、それによって給食費は異なるのか。</p>
<p>保健給食課 中村参事</p>	<p>業者委託は調理業務に限定している。食材の調達は県・市の栄養士が担当している。給食費は材料費のみで、運営費については市が支出している。市内の小中学校の給食費は各々が同額である。自校式の給食は大変評判が良い。</p>
<p>橋本運営委員</p>	<p>センター給食、自校給食どちらも体験をした。センター給食もおいしくいただいているが、子ども達にとって、自校給食は学校内で調理されているため、身近に感じることができ、さらにランチルーム等が活用され、大変良い効果がある。残食量が減る効果も期待できる。</p>
<p>武内運営委員</p>	<p>泉小学校はセンター給食だが、子ども達はバラエティーに富んだ給食を大変喜んでいる。給食「親子方式」の給食もよいのではないかと思う。</p>
<p>松本運営委員</p>	<p>「親子方式」で整備すると何年かかるのか。また「親子方式」の場合、小学校中学校の献立はどのようになるのか。</p>
<p>保健給食課 中村参事  田中副主幹</p>	<p>小学校17校に調理場を整備することになるため、年度に1校ずつの自校化だとおよそ20年が必要のため、1年に複数校の整備をする必要があると考える。  献立について。現在、所沢小学校は児童数が多く、1校あたりでおよそ1,000食を調理している。「親子方式」で調理する食数はおおよそ1,000食なので、1つのメニューで問題はない。</p>
<p>池田運営委員</p>	<p>生徒数の多い中学校に調理場を建築するようなことは検討しているか。</p>
<p>保健給食課 中村参事</p>	<p>中学校に調理場を建築することは現在、考えていない。</p>
<p>阿部運営委員</p>	<p>所沢市の自校給食化が再開するのは学校施設の耐震化の後だと言うことだが、早期に自校給食化を実現するために、狭山市のように民間の財力を使うことを検討してはどうか。</p>

高橋運営委員	<p>自校給食の場合、学校で作った野菜を使用することで、給食を通して教育ができる等のメリットがある。「親子方式」の場合も、自校給食同様、小回りのきく良さを取り入れてほしい。</p>
青木運営委員	<p>中学校はセンター給食であり、生徒によっては量が足りない場合もあるが、味は良い。だが、センター給食より自校給食の方が味は良い。「親子方式」も課題はあると思うが期待したい。調理している人の顔がみえることが大切。</p>
内田運営委員	<p>「親子方式」は小学校から中学校へ給食を配送することになるが、配送の運転手等の経費はどうなるのか。</p>
保健給食課 中村参事	<p>調理業務に加えて、配送業務も民間委託の方向で検討している。</p>
平田運営委員	<p>本委員会の次回開催予定は。</p>
保健給食課 中村参事	<p>今回の会議でいただいたご意見を計画に盛り込み、整理した後、開催日を検討したい。決定次第通知したい。</p>
村上運営委員	<p>中学校に調理場を建築する考えはないのか。</p>
保健給食課 中村参事	<p>小学校については全校を自校給食化する方針だが、中学校の自校給食化は検討していない。</p>
	<p style="text-align: right;">以上</p>